

平成26年度「組織目標」

所属名	近代美術館 (予算額 217,373千円 13人)			
現場の課題(現状)				
美術館を取り巻く環境が大変厳しい中であって、さらに多くの人に来館していただける取り組みを進める必要があります。				
県民のニーズ				
優れた美術作品を鑑賞できる県内唯一の公立美術館に対する期待があります。				
当館の使命				
県民の美術に対する理解を深め、美に対する感覚を養い、県民の生活の中におけるおいと心の豊かさをもたらします。				
	項目(何に)	26年度の目標		どのように(具体的な取り組み)
		どんな状態に	どれくらいに	
目標1	個性的で魅力ある展覧会の実施	様々な年代の多くの美術ファンに親しまれ、展覧会に多くの人が訪れています。	展覧会延観覧者数 95,000人 内30周年特別展 遊亀と靱彦 16,000人 滋賀近美30年の至宝展 3,000人	○当館の開館30周年にあたり、館蔵品の精華を見せる展覧会をはじめ、多様なニーズに対応する多彩なジャンルの展覧会を開催するとともに、関連イベントも充実させるなど、幅広い方々に親しまれる美術館を目指します。
目標2	美術館教育の推進	優れた美術作品にふれながら、美術館ならではのワークショップ・鑑賞教育等の活動が活発に行われています。	教育普及事業参加者 5,500人	○ボランティアとの協働によるワークショップなどの事業の実施、学校との連携強化など、特に子どもを対象とした取り組みを充実させます。 ○美術館のノウハウを生かした芸術性の高い展示やワークショップなどを県内各地に出張(お出かけミュージアム)して実施します。
目標3				
目標達成のための心構え等				
<ul style="list-style-type: none"> ・運営改善方針に基づいた取り組みを一層進め、適正な美術館運営に努めます。 ・各展覧会開催終了後に事業評価を実施し、問題点の把握、課題の洗い出しを行い、次の展覧会に活かします。 ・来館者アンケートから利用者が感じている美術館への期待や問題点を把握し、その対応に努めます。 				